

宇宙安全保障構想（案）の概要

宇宙安全保障上の目標

我が国が、宇宙空間を通じて国の平和と繁栄、国民の安全と安心を増進しつつ、
同盟国・同志国等とともに、宇宙空間の安定的利用と宇宙空間への自由なアクセスを維持すること。

第1のアプローチ
安全保障のための
宇宙システム利用の抜本的拡大

（宇宙からの安全保障）

- ① 広域・高頻度・高精度な情報収集態勢の確立
- ② 耐傍受性・耐妨害性の高い情報通信態勢の確立
- ③ ミサイル脅威への対応
- ④ 衛星測位機能の強化
- ⑤ 大規模・柔軟な宇宙輸送態勢の確立

第2のアプローチ
宇宙空間の
安全かつ安定的な利用の確保

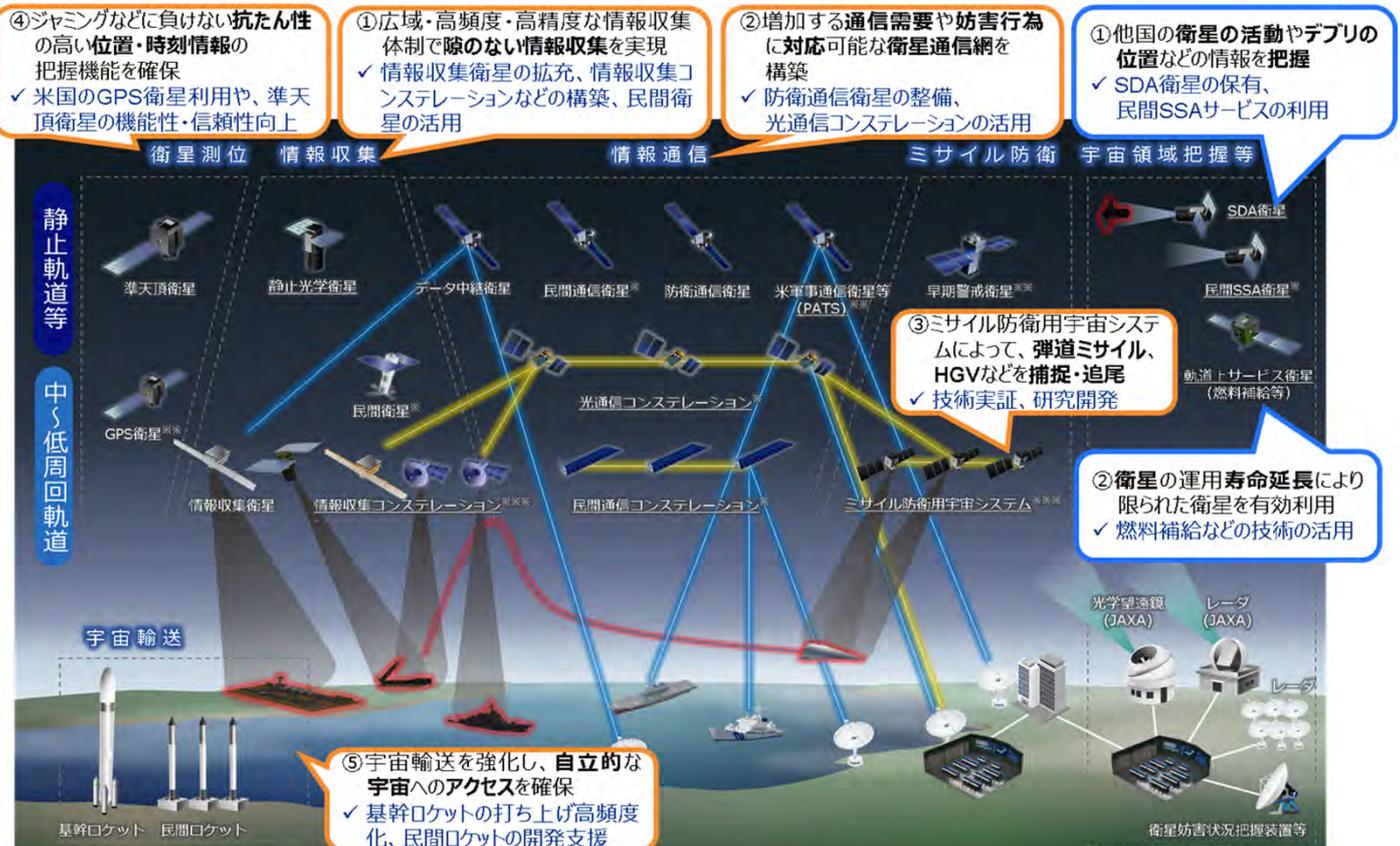
（宇宙における安全保障）

- ① 宇宙領域把握等の充実・強化
- ② 衛星の長期的・経済的運用のためのライフサイクル管理
- ③ 不測事態における対応体制の強化
- ④ 国際的な規範・ルール作りへの主体的貢献

第3のアプローチ
安全保障と宇宙産業の発展の
好循環の実現

（宇宙産業の支援・育成）

- ① 新たに策定する宇宙技術戦略の実行
・先端・基盤技術開発力の強化
・自律性を確保すべき重要技術の国産化
- ② 政府・関係機関の役割・連携の強化
・JAXAの役割の強化
・政府の先端技術の研究開発成果の安全保障用途への活用
- ③ 民間イノベーションの活用
・民間技術の活用
・民間主導の技術開発の支援


安全保障のための宇宙アーキテクチャを構築


【凡例】※ 民間が保有する衛星 ※※ 同盟国等が保有する衛星 ※※※ 現時点で保有形態又は保有が決まっていない衛星
 ・ 記載している衛星・ロケットの数、上下位置、通信を示す線は一例であり、それぞれ実際の衛星数、軌道高度、ネットワークを示すものではない。
 ・ 下線は、新たに導入や利用が検討されている衛星等を示す。

光通信 電波等